

2021年度（令和3年度）

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会	
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念	2
法人本部	
手稲ロータス会 法人本部	4
特養手稲	
職員内部研修計画	6
介護老人福祉施設 手稲ロータス	8
各種会議・委員会	10
年間行事予定	10
年間行事予算	11
手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	12
老健手稲	
職員内部研修計画	15
介護老人保健施設 手稲あんじゅ	17
各種会議・委員会	18
年間行事予定	18
年間行事予算	19
手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	20
年間会議予定	21
年間行事予算	21
手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	22
在宅手稲	
職員内部研修計画	24
（介護予防）認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう	27
年間会議予定	28
年間行事予算	28
手稲ゆうゆう（介護予防）通所介護事業所	29
年間会議予定	30
年間行事予算	30
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所	31
手稲ゆうゆう（介護予防）訪問介護事業所	32
手稲ゆうゆう居宅介護事業所・	
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	33
年間会議予定	34
介護予防普及啓発事業予定・予算	34

特養音更

職員内部研修計画	36
介護老人福祉施設 ロータス音更	38
各種会議・委員会	39
年間行事予定	39
年間行事予算	40
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所（標準型・認知症型）	41
年間会議予定（標準型）	42
年間行事予算（標準型）	42
年間会議予定（認知症型）	43
年間行事予算（認知症型）	43
音更町地域包括支援センター ロータス音更	44
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	45

老健音更

職員内部研修計画	47
老人保健施設 あんじゅ音更	49
各種会議・委員会	50
年間行事予定	50
年間行事予算	51
あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	52
年間会議予定	53
年間行事予算	53
あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	54

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔を大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員
の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこま
やかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○ご利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族様の笑顔のために

- ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境にやさしい施設運営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

手 稲 口 ー タ ス 会 法 人 本 部 事 務 局

手稲ロータス会 法人本部

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症の流行がもたらした影響により、介護福祉サービスを提供する各事業所にとっても、感染予防と感染症発生時の体制強化という新たな課題が発生している。

このようなことから、先が見通しにくい状況を踏まえて、今後の状況変化に柔軟に対応できる体制の強化に着実に取り組んでいく。

《重点推進課題》

1. 感染症がまん延し法人運営に危機が生じたとき、適切な対応を取ることができるよう、感染症に係る事業継続計画を策定する。

ア 日頃の運営リスク軽減と緊急時に対応した法人のBCPを策定するため、各施設の管理職を集め、意見聴取し、検討委員会を立ち上げる。

イ あんじゅ音更で経験した新型コロナウイルス感染症のクラスター対応方法を検証し、既存の感染症予防対策マニュアルに反映させ、各施設の感染予防・感染拡大防止の強化を図る。

【指標・評価方法】

- ①「法人共通の指針」の策定を行う。また、感染症に対応するためのマニュアルの見直しを行うため、各事業所の協力を仰ぎ、情報の集約を図る。
- ②BCP における初動対応方法、現地対策本部及び現場の状況の把握方法の構築、ご家族への支援体制、関係機関、法人職員への情報統制、不足する運営資金の確保等の検討を行う。
- ③国の支援を受けながら認定看護師、コンシェルジュ等感染症対応の専門家から講義を受けられるよう、施設へ支援を行う。
上半期で作成した「法人共通の指針」を全事業所で共有する。

2. 介護職員初任者研修事業の実施をめざして取り組む

2020年度の重点推進課題から引き続き、当法人が介護職員初任者研修指定事業者となり、法人職員および一般市民を対象とした研修を実施できるよう取り組む。

【指標・評価方法】

- ①2021 年度内で指定を受けることを目標とする。

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	感染症予防委員会
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	事故防止・苦情検討委員会
6月	食中毒の予防に関する研修	管理栄養士
7月	看取り介護に関する研修	音更特養の看取り士
8月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	感染症予防委員会
10月	事故発生又は再発防止に関する研修②	事故防止・苦情検討委員会
11月	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	施設内外の講師
12月	地震などの自然災害の防災に関する研修	施設内外の講師
1月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
3月	認知症ケアに関する研修	施設内外の講師
その他	新入職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	接遇に関する研修	施設内外の講師
	ユニットケアに関する研修	施設内外の講師
	食事や排せつなどの介護技術に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	食事形態に関する研修（試食）	管理栄養士
	避難訓練（火災：年2回～日中想定、夜間想定（2021.11.17（水）10：30実施予定） 避難訓練（地震：年1回）	札幌市防災協会等 札幌市防災協会等

(手稲ロータス居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
6月	食中毒の予防に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
7月	看取り介護に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
8月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
10月	事故発生又は再発防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
11月	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	併設する介護老人福祉施設と共同開催
12月	地震などの自然災害の防災に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
1月	褥瘡予防に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
3月	認知症ケアに関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
その他	新入職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	事例検討会	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	介護保険制度の改正に関する研修	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	接遇に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
	地域における社会資源の活用に関する研修	法人内の介護予防センター相談員
法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師	

介護老人福祉施設 手稲ロータス

手稲ロータス 指定居宅介護支援事業所

介護老人福祉施設 手稲ロータス

入居様が笑顔で心穏やかに生活できるよう、チーム全員で入居者の自立への取り組みを進めていくとともに、入居者の「願い」を叶えるユニットケアを一層促進する。

また、ご家族様の想いが入居者に届き、入居者様とご家族様が共に笑顔になり、職員の笑顔につながっていく環境づくりを目指す。

さらに、地域とのつながりを拓げるため、地域を応援する活動やアクティブシニアとの協力関係を構築するほか、介護相談に関する地域の活動拠点を目指す施設づくりを進めるとともに、情報を一元化させ、科学的根拠に基づくケアにより入居者様ファーストを実践し、併せて、安心して働ける職場環境の充実に努める。

《重点推進課題》

1 入居者の「想い」に寄り添い、チーム全員で入居者の笑顔をつくる環境を目指す

各専門職が連携・協力し、入居者の「願い」を叶える統一したユニットケアを一層促進しながら、入居者が持っている能力が発揮され保ち続けられるよう、自立につながる取り組みを進めていくとともに、心穏やかで笑顔があふれる生活環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

入居者の笑顔があふれる環境づくりをさらに進めていくため、入居者一人ひとりのご意向や生活リズムなどが反映される「24時間シート」の作成に当たって、多職種が連携・協力して取り組むことにより、専門職間のチームワーク力を高めるとともに、サービスの質や量にバラつきがない統一されたケアの提供につなげていく。

また、入居者が持っている能力を十分に発揮して頂くことや、その能力を保ち続けられるよう、排せつケアの向上などによる褥瘡予防やおむつ外しなど、入居者の自立につながる取り組みを促進していく。

さらに、入居者が心穏やかに生活を送ることができるよう、入居者の「願い」を叶えたレクリエーションを定期的に個別開催するなど、余暇活動を充実させるほか、入居者様に対する丁寧な言葉遣いの徹底、笑顔があふれ、清潔で過ごしやすい生活空間を整えるなど、安全、かつ、安心できる環境づくりに努めていく。

2 ご家族様に安心して頂ける環境づくりを目指す

新型コロナウイルス感染症からの感染予防のため、入居者様との面会を自粛頂いているご家族様の「寂しさ」や「不安」を少しでも緩和するため、入居者様の日常のご様子などをお伝えする取り組みを継続するとともに、一層充実させていく。

【指標・評価方法】

ご家族様に対して、入居者様のご様子や体調の変化、ケアの内容などをお伝えするため毎月発行・送付している「お便り(すまいるだより)」の内容を一層充実させるとともに、ビデオ通話による入居者様とご家族様との会話の機会を増やしていくほか、ご家族様のケアに対するご意向などを確認するための取組みを進めていく。

また、当施設のホームページや広報誌のほか、YouTube(ユーチューブ)チャンネルを用いて、入居者様が日常生活の中で活動されているお姿などを多角的に配信するなど、ご家族様により安心して頂ける取組みを一層充実させる。

3 地域の皆様と共に歩む施設づくりを進める

新型コロナ禍により、地域と関わることのできる活動に限られる中で、地域の飲食店を応援する活動に取り組むほか、地域のアクティブシニアとの関係性を築き、施設活動に関わって頂ける環境づくりを進めるなどして、地域とのネットワークを拡げていく。

また、インターネット通信による「介護相談室」を開設するなど相談窓口の機能を拡充し、地域における介護相談の拠点づくりを目指す。

【指標・評価方法】

施設行事の際の「行事食」を、地域の飲食店の協力を得て提供するほか、アクティブシニア(元気高齢者)と施設との新たな「つながり」を構築するとともに、施設活動に積極的に関わって頂けるよう働きかけるなど、施設と地域がつながる活動を徐々に拡げていく。

また、介護に関する相談窓口機能を拡充するため、オンラインによる介護相談窓口を開設するとともに、当施設に併設する居宅介護支援事業所や法人内の在宅サービス事業所との連携を強化し、介護相談に関する地域の拠点づくりを目指す。

4 情報が共有でき、科学的で入居者様ファーストのケアと、安心して働き続けられる職場環境づくりを目指す

入居者様の心身機能や活動などが維持され、より安心して生活して頂けるよう、各専門職員が持つ専門性を発揮させるため、情報共有のためのシステムを再構築することや、科学的根拠に基づくケアの実践を可能とする体制を新たに構築する。

また、全ての職員が、入居者様ファーストのサービスを実践するための強い意欲を持ち続けながら、働き続けられる職場環境づくりを目指す。

【指標・評価方法】

組織運営上必須である職員間の情報共有のための環境を実現(一元化)することにより、入居者様のケアプラン、栄養、リハビリ、24時間シートなどの各種計画のアセスメント結果に連動性を持たせていくほか、国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))を活用した計画を作成して、科学的根拠に基づくケアが実践できる体制づくりに取り組む。

また、入居者様ファーストとなるケア環境をより充実させていくための職員研修(施設内、外部派遣)を拡充させていくほか、各職員が当施設において働き続けられる職場環境づくりを目指し、業務負担の軽減のため、夜勤体制の強化を図ることや腰痛予防のための対策を講じるほか、職員間の通信手段としてインカムの導入などに取り組んでいく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第4水曜日 13:30～
	副主任等会議	毎月第1水曜日 16:15～
	職員会議	4月・7月・10月・1月第4水曜日 16:15～
	フロア会議	月1回
	入居検討委員会	4月・7月・10月・1月第4水曜日 10:30～
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第2木曜日 16:15～
	感染症予防委員会	5月・8月・11月・12月・1月・2月・3月第2月曜日 16:15～
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第2金曜日 16:15～
	褥瘡予防対策委員会	毎月第3水曜日 16:15～
	看取り介護検討委員会	毎月第2水曜日 16:15～
	広報・研修委員会	毎月第1火曜日 16:15～
	給食委員会	定期的に開催

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	9(日)	母の日のお祝い	女性の入居者及び利用者にはプレゼントを贈り、お祝いする。
6月	5(土)	開設記念行事 ※	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、お祝いする。
	20(日)	父の日のお祝い	男性の入居者及び利用者にはプレゼントを贈り、お祝いする。
7月	24(土)	手稲ロータス夏まつり	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。
9月	18(土)	敬老祝賀会 ※	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。
12月	24(金)	クリスマス会・忘年会	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
2月	3(木)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく
3月	3(木)	桃の節句	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。
通年	—	誕生会	各ユニットにて入居者の誕生に合わせ個別に実施する。
	—	個別活動	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。
	—	地域活動	地域交流スペースにて運動教室等の身体活動、パソコン教室等の文化活動を随時実施する。

【備考】

※ 「開設記念行事」は、入居者とご家族が交流できる機会とすることから、6月5日(土)又は6月6日(日)どちらかに実施。

※ 「敬老祝賀会」は、入居者とご家族が交流できる機会とすることから、9月18日(土)又は9月19日(日)どちらかに実施。

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	母の日のお祝い	9日	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 60人		52,800	52,800
6月	開設記念行事	5日	ユニットまたはフロア毎に企画を立て、お祝いする。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 飲み物代 3,300 × 8 ユニット 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 26,400	22,000	118,800
	父の日のお祝い	20日	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 20人		17,600	
7月	手稲ロータス夏まつり	24日	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。	模擬店材料代 1,100 × 200人 装飾品代 2,750 × 8 ユニット 運営費 330 × 200人	220,000	22,000 66,000	308,000
9月	敬老祝賀会	18日	ユニットまたはフロア毎に、ご家族を招き、敬老をお祝いする。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 被表彰者記念品代(100歳以上) 3,300 × 3人 被表彰者記念品代(喜寿) 3,300 × 3人 被表彰者記念品代(傘寿) 3,300 × 3人 被表彰者記念品代(米寿) 3,300 × 3人 被表彰者記念品代(卒寿) 3,300 × 3人 被表彰者記念品代(白寿) 3,300 × 3人 表彰状の用紙代 2,000 × 1袋 表彰状の額縁 330 × 18人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 9,900 9,900 9,900 9,900 9,900 9,900 2,000 5,940 22,000		142,140
12月	クリスマス・忘年会	24日	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 飲み物代 2,750 × 8 ユニット プレゼント代 550 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 22,000	44,000 22,000	140,800
2月	節分行事	3日	豆まきを楽しむ。	入居者食事代 220 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
3月	桃の節句	3日	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。	入居者食事代 220 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
通年	誕生会	随時	各入居者に誕生日プレゼントを贈る。	プレゼント代 880 × 100人		88,000	536,400
	個別活動	随時	各ユニットにて外食行事などを企画しながら随時、実施する。	職員食事代 840 × 140人 運営費 1,000 × 80人	117,600	80,000	
	正月の装飾費	随時	正月の雰囲気を感じていただくため、ユニット内の装飾費用とする。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	
	レクリエーション活動費	随時	各ユニットにてレクリエーションを企画し、随時、実施する。	年間活動費 26,400 × 8 ユニット (1ユニット月に2,200円)		211,200	
	地域活動	随時	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。	運営費 2,200 × 12回		26,400	
合 計					579,600	798,540	1,378,140

手稲ロータス指定居宅介護支援事業所

利用者様が満足できる在宅生活が継続できるよう、居宅介護サービス事業者などとの連携を深めるとともに、利用者様の社会参加や近隣住民による支援などのインフォーマルサービスの活用を促進させる。

また、ご家族様に安心感と信頼感を持って頂けるよう、ご家族様の「想い」を共有して、ケアに関するご家族様の悩みや不安を協力して解決する関係づくりに努める。

さらに、社会活動への参加につながる地域の社会資源の活動状況を把握するとともに、社会参加の阻害要因となる地域課題の解決に向けた取組みに参画するほか、地域における介護相談窓口としての役割を一層充実させるとともに、利用者様の「想い」や「願い」を叶える介護支援専門員としての専門的知識や技術を高めながら、利用者様にたくさんの笑顔があふれる活気ある事業所づくりと職員が働きやすい職場づくりに努める。

《重点推進課題》

1 利用者様に満足して頂ける在宅生活の支援に向け、個性あるケアプランづくりを目指す

利用者様の意思が尊重され、利用者様に満足して頂ける在宅生活が継続できるよう、居宅介護サービス事業者との連携・協力を一層促進させるとともに、利用者様の社会参加や近隣住民による共助などのインフォーマルサービスを積極的に活用していく。

また、利用者様の笑顔があふれる環境づくりを目指し、より多くの利用者様との出会いを大切にする。

【指標・評価方法】

利用者様が在宅生活を継続できるよう、利用者様が持っている能力や生活環境のほか、社会活動へ参加できる状況などを保ち続けていく上での課題をしっかりと踏まえながら、利用者様のご意思を反映したケアプランを作成するとともに、各々の居宅介護サービス事業者が利用者様の笑顔や満足につながるサービスを提供できるよう、サービス調整や評価を促進させていく。

また、利用者様が公的サービスだけではなく、自発的に老人クラブなどの社会活動に参加することや、近隣住民の皆様による見守り活動などのインフォーマルサービスを活用するよう促していく。

さらに、事業を展開していく中で、利用者様の笑顔があふれるよう、多くの利用者様との出会いを積極的に求めていく。

2 ご家族様の「想い」を共有し、在宅介護の悩みや不安が解決できる環境づくりを目指す

利用者様が在宅生活を継続していくためには、ご家族様による介護環境や介護力などの維持がとても重要であることから、ご家族様の「想い」を共有できる取組みの促進とともに、ご家族様が抱える悩みや不安を可能な限り解決していくための環境づくりを進める。

【指標・評価方法】

ご家族様に安心感と信頼感を持って頂けるよう、利用者様のサービス開始前後のご様子の変化やケアの内容などを定期訪問などでお伝えするとともに、ご家族様が些細なことでも相談しやすい環境に配慮するなどして、ご家族様の「想い」を共有できる関係性を築いていく。

また、ご家族様が抱えるケアに関する悩みや不安を把握するため、アンケートを実施するとともに、必要に応じて関係事業者などと連携しながらその解決に努める。

3 地域の関係機関などとの連携による社会活動への参加促進や地域の介護相談の拠点づくりを進める

地域包括支援センターなどと連携して、社会参加のための地域資源を把握するとともに、地域における社会参加の阻害要因となる課題の解決に向けた取組みを進める。

また、インターネット通信による「介護相談室」を開設するなど相談窓口の機能を拡充し、地域における介護相談の拠点づくりを目指す。

【指標・評価方法】

ケアプランに社会活動につながるインフォーマルサービスなどを反映させるため、地域包括支援センターや介護予防センターと連携し、利用者様の居住地域におけるそうした社会資源を把握するとともに、社会参加の阻害要因となる地域課題の解決に取り組む。

また、介護に関する相談窓口機能を拡充するため、オンラインによる介護相談窓口を開設するとともに、当事業所に併設する介護老人福祉施設や法人内の在宅サービス事業所との連携を強化し、介護相談に関する地域の拠点づくりを目指す。

4 職員自らがスキルアップして、多くの利用者様に還元できる事業所づくりを目指す

利用者様が思い描く自宅生活での人生設計を叶えるため、利用者様の想いが反映されるケアプランの作成に必要な様々な専門的知識や技術を学ぶ機会を充実させる。

また、多くの利用者様の笑顔に出会える事業所を目指すとともに、活気ある職場環境づくりを進める。

【指標・評価方法】

自宅での生活を続けたいという利用者様の「想い」や「願い」を叶えるため、職員のスキルアップに必要な介護や医療サービスに関する法令基準などの専門的知識のほか、看取り介護などの知識・技術を修得させるための研修(事業所内、外部派遣)を充実させる。

また、より多くの利用者様の笑顔に出会える事業所を目指すとともに、介護支援専門員を増員して、事業所が一つのチームとして連携・協力していける働きやすく活気のある職場環境づくりに努める。

老 健 手 稻

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	主任相談員等
5月	職員のメンタルヘルスについて	看護主任等
6月	感染症予防について①	感染症予防委員長
7月	レクリエーションについて	リハビリ主任等
8月	身体拘束防止について	身体拘束廃止委員長
9月	事故防止について①	事故防止委員長
10月	感染症予防について②	感染症予防委員長
11月	非常災害について	主任相談員等
12月	事故防止について②	事故防止委員長
1月	口腔ケアについて	看護主任等
2月	高齢者虐待について	身体拘束廃止委員長
3月	認知症ケアについて	介護主任等
随時	新規採用職員研修	各事業の主任等

介護老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

介護保険改正により、科学的根拠を基にしたケアの実践が求められ、ICTの推進が一層明確化されている。当施設においても、ICT化による情報集約、職種間での情報共有を推し進め、さらに統一したケア体制を確立する。また、同時に業務の効率化を図り、入所者へのケア時間を拡大することで個別性の高いケアを提供し、入所者及び家族が満足感を得られる体制を目指す。

《重点推進課題》

1. R4システム運用によるケア体制の確立

R4システムのケアマネジメント方式を活用して、根拠に基づいたケア体制を確立する。

【指標・評価方法】

- ①導入後3ヵ月以内に全入所者のケアマネジメント情報をR4システムに入力する。
- ②年度内に「R1(各種アセスメント)⇒R2(ケアプランの作成)⇒R3(ケアプランの実施と確認)⇒R4(モニタリング)」のR4システムを確立する。

2. タブレット端末活用による業務の効率化

タブレット端末の導入により、全フロア内での記録入力及び情報確認が可能となるため、業務を効率化し入所者へのケア時間を拡大していく。また、ケア場面毎の情報確認を行うことで、各職員が統一したケアを提供する事を目指す。

【指標・評価方法】

- ①上半期に、職員がタブレット端末の使用方法を習得する。
- ②年度内に、情報入力の簡素化により紙資料を削減する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	第1・3木曜日 17:00～
	グループ会議	各グループ月1回 17:00～
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	褥瘡予防対策委員会	第1木曜日 16:00～
	感染症予防対策委員会	第2木曜日 16:00～
	身体拘束廃止委員会	第3木曜日 16:00～
	事故防止検討委員会	第4木曜日 16:00～
	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	4月中 各階1回	記念撮影週間 おやつレク	髪型を整え化粧をして記念撮影をする 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ
5月	各階1回	お茶会	新茶の季節を感じるお茶会をする
	一週間	桜湯の日	桜の香りのお湯で季節を感じる
	5月中	テラスで日光浴週間	テラスで日光浴を楽しむ(全員がテラスに出られる機会を持つ)
6月	1日	開設記念式典	豪華な食事で開設記念日を祝う(グループで集合写真を撮影)
	各階1回	テラスでシャボン玉	テラスでシャボン玉などを楽しむ
7月	一週間	薄荷湯の日	薄荷の香りのお湯を楽しみ、入浴後に飲み物を用意する
	各階1回	テラスでアイスクリーム	テラスでアイスクリームを食べる
8月	各階1回	花火	花火をしたり観賞して楽しむ
	各階1回	スイカ割り	スイカ割りをしたり食べることで夏を楽しむ
	各階1回	盆踊り	音楽に合わせて身体を動かす(体操で盆踊りを練習する)
9月	20日	敬老祝賀会	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う
	一週間	生姜湯の日	いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる
10月	各階1回	スポーツ大会	身体を動かして楽しむ(2月にも行い、リハビリなどで練習する)
	各階1回	おやつレク	個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ
11月	各階1回	職員のだ自慢大会	職員が歌などを披露して楽しんで頂く
	一週間	ゆず湯の日	いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる
12月	後半で1回	忘年会(1年の振り返り)	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る宴会
	12月中	年越し準備週間	整容や装飾作りなどをして新年を迎える準備をする
1月	各階1回	お正月遊びの日	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ
	一週間	みかん湯の日	みかんの皮を入浴剤にして季節のお湯を楽しむ
2月	各階1回	スポーツ大会	身体を動かして楽しんで頂く
	2日	節分の豆まき	豆まきなど節分の風習を行う
3月	3日	ひな祭り食事会	夕食でお祝いの食事会を行う
	一週間	薬湯の日	いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる

【備 考】

- ※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施
- ※「音楽療法」毎月第3火曜日14:00～
- ※「化粧療法」2ヶ月に1回火曜日14:00～実施(化粧教室、ハンドマッサージ・ネイル教室)
- ※「あんしんお届け便」(外部業者によるショッピング機会の提供)年2回
- ※「喫茶」(各階)毎週日曜日14:00～
- ※「避難訓練」年2回
- ※上記以外に「個別外出」、地域交流等を実施
- ※年間行事予定については、感染症予防対策のため必要に応じて変更しながら実施していく

年間行事予算

(単位:円)

会議	行事名	実施日	実施内容	費用	内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	記念撮影週間 おやつレク	4月中 各階1回	髪型を整え化粧をして記念撮影をする 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ	運営費 食材費等 運営費	10,000 × 2フロア 500 × 90人 5,000 × 2回	45,000	20,000 10,000	75,000
5月	お茶会 桜湯の日 テラスで日光浴週間	各階1回 一週間 5月中	新茶の季節を感じるお茶会をする 桜の香りのお湯で季節を感じる テラスで日光浴を楽しむ(全員がテラスに出る機会を持つ)	食材費等 運営費 運営費 運営費	700 × 90人 5,000 × 2回 10,000 × 1回 5,000 × 2フロア	63,000	10,000 10,000 10,000	93,000
6月	開設記念式典 テラスでシャボン玉	1日 各階1回	豪華な食事で開設記念日を祝う テラスでシャボン玉などを楽しむ	入所者飲食代 運営費 運営費	660 × 90人 20,000 × 1回 10,000 × 2回	59,400	20,000 20,000	99,400
7月	薄荷湯の日 テラスでアイスクリーム	一週間 各階1回	薄荷の香りのお湯を楽しむ、入浴後に飲み物を用意する テラスでアイスクリームを食べる	食材費等 運営費 食材費等 運営費	300 × 90人 10,000 × 1回 500 × 90人 5,000 × 2回	27,000 45,000	10,000 10,000	92,000
8月	花火大会 スイカ割り 盆踊り	各階1回 各階1回 各階1回	花火をしたり観賞して楽しむ スイカ割りをしたり、スイカを食べることで夏を楽しむ 音楽に合わせて身体を動かす	運営費 食材費等 運営費 運営費	20,000 × 2回 400 × 90人 10,000 × 2回 10,000 × 2回	36,000	40,000 20,000 20,000	116,000
9月	敬老祝賀会 生姜湯の日	20日 一週間	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	食事代 おやつ代 飲物代他 記念品代(男女最高齢) 記念品代(賀寿) 運営費 運営費	660 × 90人 600 × 90人 10,000 × 1回 12,000 × 2人 8,400 × 20人 30,000 × 1回 10,000 × 1回	59,400 54,000 10,000	24,000 168,000 30,000 10,000	355,400
10月	スポーツ大会 おやつレク	各階1回 各階1回	身体を動かして楽しむ 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ	運営費 食材費等 運営費	10,000 × 2回 500 × 90人 5,000 × 2回	45,000	20,000 10,000	75,000
11月	職員のだ自慢大会 ゆず湯の日	各階1回 一週間	職員が歌などを披露して楽しんで頂く いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	運営費 運営費	5,000 × 2回 10,000 × 1回	10,000 10,000	10,000	20,000
12月	忘年会 年越し準備週間	下旬 12月中	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る宴会 整容や装飾作りなど新年を迎える準備をする	入所者食事代 飲物代他 運営費 運営費	660 × 90人 10,000 × 1回 10,000 × 1回 15,000 × 2フロア	59,400 10,000 10,000	30,000	109,400
1月	お正月遊びの日 みかん湯の日	各階1回 一週間	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ みかんの皮を入浴剤にして季節のお湯を楽しむ	運営費 食材費等 運営費	10,000 × 2回 400 × 90人 10,000 × 1回	36,000	20,000 10,000	66,000
2月	節分の豆まき スポーツ大会	2日 各階1回	豆まきなど節分の風習を行う 身体を動かして楽しむ	運営費 衣装代 運営費	10,000 × 1回 25,000 × 1回 10,000 × 2回	10,000 25,000	20,000	55,000
3月	ひな祭り食事会 薬湯の日	3日 一週間	夕食でお祝いの食事会を行う いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	入所者食事代 運営費 運営費	660 × 90人 10,000 × 1回 10,000 × 1回	59,400	10,000 10,000	79,400
その他	誕生会	随時	各入所者に誕生日プレゼントを贈る	プレゼント代他	1,100 × 90人		99,000	99,000
	音楽療法	月1回	音楽療法士による音楽療法	委託料	10,000 × 12回		120,000	120,000
	化粧療法	年6回	資生堂による化粧療法	委託料	11,400 × 6回		68,400	68,400
	あんしんお届け便	年2回	外部業者によるショッピング機会の提供	実費			0	0
	買い物代行	月2回	ネットショッピングによる買い物	実費			0	0
個別外出	随時	急なニーズに対応	職員飲食代	940 × 30人	28,200		28,200	
外出デイ	年16回	季節折々の観光地や公共施設等へ外出	運営費	15,000 × 1回		15,000	15,000	
レクリエーション費	随時	季節折々の観光地や公共施設等へ外出 グループごとに行うレクリエーション等	職員・ボランティア飲食代 運営費	1,240 × 100人 70,000 × 2フロア	124,000	140,000	140,000	
合 計						770,800	1,059,400	1,830,200

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

住み慣れた地域での生活を一日でも長く継続できるように、利用者本人や家族の気持ちを汲み取り「通所リハビリテーション事業所として何ができるか」を考え支援していく。

介護職、看護職、リハビリ職が連携し専門職としての自覚を持ち、適切なケア及びリハビリテーションを行うことで、利用者の心身機能回復・維持を目指す。

《重点推進課題》

ニーズに合わせた個別プログラムの実践と評価

昨年度、個々に合わせた活動プログラムを作成し、利用者自身で自己評価できる体制を確立できた。今年度は、自己評価による本人の達成感を更に活動意欲へつなげられるよう、本人のみならず家族等と情報を共有し、ニーズに合わせた個別プログラムの作成と実践、評価を行っていく。

【指標・評価方法】

ケアカンファレンス等を活用し、3ヵ月毎に個別プログラムの評価と見直しを行う。心身機能やニーズに変化があった場合は、随時プログラム内容の見直しを行い、実践評価していく。

ケアカンファレンス前には、利用者本人の自己評価や家族の意向を確認し、計画書や個別プログラムに反映していく。

各種会議・委員会

月	会議予定	開催日
会議	デイケア会議	毎月第1火曜日 17:00～
	ケースカンファレンス	随時
	主任会議	第1・3木曜日 17:00～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～

年間行事予定

(単位：円)

月	行事名	予算内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	お花見ドライブ	実費	0	0	0
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 37人	24,420		24,420
8月	ロータス会夏祭り	飲食代 20,000 × 1回	20,000		
		装飾代 10,000 × 1回		10,000	
		運営費 10,000 × 1回		10,000	40,000
9月	敬老祝賀会 敬老祝週間	利用者食事代(当日) 660 × 37人	24,420		
		記念品代 660 × 95人		62,700	
		記念品代(賀寿) 4,400 × 8人		35,200	
		運営費 5,000 × 6回		30,000	152,320
10月	レクリエーション大会	運営費 5,000 × 6回		30,000	30,000
12月	年末ビンゴ大会	プレゼント代 1,320 × 95人		125,400	
	冬のお食事会	利用者食事代(当日) 660 × 37人	24,420		149,820
通年	レクリエーション制作教材費	30,000 × 12ヵ月		360,000	
	ボランティア謝礼	5,000 × 12回		60,000	
	誕生祝い(プレゼント代)	550 × 95人		52,250	472,250
合 計			93,260	775,550	868,810

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護保険制度改正により、訪問リハビリにおいては、退院退所直後に提供できるサービス回数が見直しが図られ、今まで以上に医療と介護の切れ目ないサービス提供が求められている。そのようなニーズに対応するため、居宅支援事業所や病院との連携を強化し、柔軟にサービスを提供できる体制構築を目指す。

《重点推進課題》

退院退所直後の充実したリハビリの提供

退院退所直後のリハビリの必要性が高い利用者に対し、一定期間、集中的にサービスを提供できる体制を構築する。

【指標・評価方法】

職員配置と利用者ごとの担当職員数の見直しを図る。担当職員数は現状の2人から3人に変更し、集中的かつ切れ目ないサービス提供を目指す。また、居宅支援事業所や病院に対し、受け入れ可能状況等の情報伝達を定期的に行っていく。

在 宅 手 稻

職員内部研修計画

手稲ゆうゆう入居

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（2020年度集計より）	事故対策委員
5月	身体拘束廃止について①	計画作成担当者
6月	感染症・食中毒の予防について	計画作成担当者
7月	認知症の理解	外部研修参加者
8月	倫理・法令遵守について	管理者
9月	ケアプランについて	計画作成担当者
10月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について②	外部研修参加者
11月	感染症予防対策について	管理者
12月	記録の書き方について	計画作成担当者
1月	個人情報、プライバシーの保護について	管理者
2月	非常災害時の対応について	管理者
3月	介護職のための医療知識、救急対応について	計画作成担当者
その他	新規採用職員研修	各事業の主任など

手稲ゆうゆう通所

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	生活相談員
5月	事故防止について①	介護職員
6月	感染症・食中毒の予防について①	管理栄養士
7月	プライバシーの保護について	生活相談員
8月	緊急時の対応方法について	生活相談員・看護職員
9月	身体拘束廃止について	生活相談員
10月	感染症・食中毒の予防について②	管理栄養士
11月	非常災害時の対応について	生活相談員
12月	認知症について	介護職員
1月	高齢者虐待防止について	生活相談員
2月	事故防止について②員	介護職
3月	職業倫理及び法令順守について	管理者
随時	新規採用職員研修	主任・副主任

手稲ゆうゆう居宅

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	介護支援専門員
5月	倫理と基本姿勢について	介護支援専門員
6月	感染症について（訓練含む）	介護支援専門員
7月	高齢者虐待について	介護支援専門員
8月	身体拘束について	介護支援専門員
9月	感染症や非常災害時の居宅支援の提供の継続について	介護支援専門員
10月	感染症について（訓練含む）	介護支援専門員
11月	ハラスメントについて	介護支援専門員
12月	ケアマネジメントについて	介護支援専門員
1月	介護予防ケアマネジメントについて	介護支援専門員
2月	介護保険法と生活保護法	介護支援専門員
3月	介護保険法と障がい者総合支援法	介護支援専門員
その他	外部研修（札幌市、ケアマネ連協、包括支援センター、他事業所、他）	外部講師

手稲ゆうゆう訪介

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇マナーについて	管理者
5月	介護技術研修（身体介護編）	サービス提供責任者等
6月	感染症について（訓練含む）	管理者
7月	人権擁護・虐待防止について	管理者
8月	身体拘束について	サービス提供責任者等
9月	感染症や非常災害時の業務継続計画について	管理者
10月	感染症について（訓練含む）	管理者
11月	個人情報保護に関する研修	サービス提供責任者等
12月	介護技術研修（生活援助編）	サービス提供責任者等
1月	訪問介護計画書・サービス記録に関する研修	サービス提供責任者等
2月	リスクマネジメント研修	サービス提供責任者等
3月	他サービスとの連携について	管理者

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう
手稲ゆうゆう (介護予防) 通所介護事業所
手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所
手稲ゆうゆう (介護予防) 訪問介護事業所
手稲ゆうゆう 指定居宅介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

入居者がゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにしている食事と、日々の運動を通して、健康で充実した生活が送れるように支援する。

《重点推進課題》

1. 健康管理の強化及び健康増進

入居者が笑顔で健康に暮らせるよう、入居者個々人の疾病を理解し、日常生活の中で、体調変化を見落とすことがないよう、早期発見に努める。

また、身体機能の維持・向上の為に、入居者が楽しみながら参加できる運動内容の見直しを図る。

【指標・評価方法】

- ①家族、訪問診療医と情報を共有し、病気を早期発見する
- ②管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する
- ③感染予防対策の継続を図る
- ④日々の体操や楽しみながら参加できる運動を取り入れる

2. ICT 化による業務効率化

タブレット端末を導入し、記録業務の効率化を図り、入居者へ寄添う時間をより多く持てるよう努める。

【指標・評価方法】

- ①システム操作方法についての研修実施
- ②ユニット会議、職員会議等で、不明点について確認し、職員間で共有する

年間会議予定

月	会議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	ユニット会議・・・随時開催	全職員
	職員会議・・・毎月第4水曜日15:00開催	全職員
	運営推進会議・・・2ヵ月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

年間行事予算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	ショッピング	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費 職員飲食代 740 × 2人	7,400 1,480	1,000	9,880
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う				
5月	端午の節句 母の日	女性入居者お祝い	栞餅代 220 × 18人 カーネーション代 ケーキ代 550 × 16人 予備費	3,960 2,000	3,000 8,800	27,640
	お花見	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2人	1,480		
6月	開設記念日(1日)	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18人 装飾費 御家族食事代 600 × 18人 予備費	10,800	2,232 5,000	42,012
	父の日	男性入居者お祝い	ケーキ代 550 × 2人 予備費	8,000	5,000 1,100	
	市内見物	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2人	1,480		
7月	市内見物	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	1,000	11,360
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 4人	2,960		
8月	夏祭り	母体施設と合同(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18人 運営費		2,232 50,000	64,112
	海辺見物	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	1,000	
	七夕 個別外出	七夕の飾りを行う 入居者の要望に沿った外出を行う	装飾費 職員飲食代 740 × 2人	1,480	2,000	
9月	敬老祝賀会	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18人 装飾費 御家族食事代 600 × 18人 記念品代 660 × 18人 祝品代 2,500 × 18人 予備費	10,800	2,232 10,000 11,880 45,000 10,000	99,792
	市内見物	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2人	1,480		
10月	紅葉狩り	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	5,000	19,840
	十五夜		月見まんじゅう代 220 × 18人 装飾費	3,960	2,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2人	1,480		
11月	外食デイ	バスレク	職員食事代 740 × 10人 予備費	7,400	1,000	9,880
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2人	1,480		
12月	クリスマス会・忘年会		往復ハガキ代 124 × 18人 装飾費 プレゼント代 1,100 × 18人 御家族食事代 600 × 18人 ケーキ代 予備費	10,800 10,000	2,232 10,000 19,800	64,832
	冬至		ゆず代		10,000 2,000	
1月	お正月 新年会	ゲーム等を行い新年をお祝いする	装飾費 ゲーム材料代 和菓子代 330 × 18人	5,940	20,000 3,000	28,940
2月	節分		豆代	1,000		1,000
3月	桃の節句	出前寿司	装飾費		2,000	2,000
通年	書籍代				20,000	20,000
	ユニット装飾費(春・夏・秋・冬)				20,000	20,000
	園芸用品代(野菜を収穫する)				20,000	20,000
	イベント食(春・夏・秋・冬)					
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					
合 計				139,780	301,508	441,288

※外出行事については、感染状況を踏まえ実施予定とする。中止の場合は室内での行事を検討します。

手稲ゆうゆう通所介護事業所

感染症予防に努めながら安定的な事業運営を目指し、様々な活動場面等を通じて利用者が持っている能力を発揮することができ、何かを得られることで、利用者にとって新たな魅力が感じられるサービス提供を目指す。

《重点推進課題》

1. 感染症予防対策の継続と安定的なサービスの提供

感染症予防対策の段階に応じたサービス提供の目安を構築し、利用者及び家族から理解を得ながら、一定の満足度を得られるサービス提供体制を目指す。

【指標・評価方法】

- ①北海道の警戒ステージに応じたサービス提供体制を検討し、マニュアル化する。

2. 自立支援・重度化防止の推進

LIFE(ライフ)へのデータ提出に向けた取り組みを行い、利用者の自立支援・重度化防止に繋がるサービス提供体制の構築を目指す。

【指標・評価方法】

- ①記録内容の充実化と入力業務の効率化のためにケアパレットの導入と効果的な活用ができるよう検討、実践を重ねていく。
- ②可能な範囲で社会資源を活用し、利用者のニーズや能力に応じた活動提供を行う。

年間会議予定

月	会議予定	開催日
	デイサービス会議	毎月第1水曜日 17:30～
会議	ケースカンファレンス・モニタリング	随時
	サービス担当者会議	随時

年間行事予定

(単位:円)

月	行事名	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 40 人	26,400		26,400
8月	夏祭り	模擬店材料代・飲食代 30,000 × 1 回 運営費	30,000	10,000	40,000
9月	敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 660 × 40 人 記念品代 550 × 120 人 記念品代(賀寿) 4,400 × 15 人 運営費	26,400	66,000 66,000 16,500	174,900
12月	忘年会	プレゼント代 550 × 120 人 利用者食事代(おやつ代含む) 660 × 96 人 運営費	63,360	66,000 16,500	145,860
2月	節分	運営費		3,300	3,300
通年	レクリエーション制作教材費 誕生会(プレゼント代) ボランティア謝礼	24,000 × 12 ヵ月 550 × 120 人 5,000 × 12 回		288,000 66,000 60,000	414,000
合 計			146,160	658,300	804,460

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

利用者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、また地域に根差した顔の見える事業所となれるよう、ICTの活用や感染症予防対策を取り入れた新しい形の「オレンジカフェ(認知症カフェ)」の開催を目指す。

《重点推進課題》

「利用者の自立支援の向上を図る」

ICTの活用により業務の効率化を図ると共に他事業所や病院等の繋がりを強化するように努め、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支援の質の向上を目指す。

また新型コロナウイルス感染症予防の観点から、積極的な地域交流が難しい状況ではあるが、地域に根差した顔の見える事業所となるよう努める。

【指標・評価方法】

- ① 居宅会議や他事業所との事例検討会にてタブレットを利用し、介護支援専門員一人ひとりのICTの知識と技術の習得に取り組む。
- ② 高齢者の中には、新型コロナウイルス感染症予防のため外出を控えていることにより、認知機能及び体力が低下している状況を踏まえ、「オレンジカフェ(認知症カフェ)」の実施を検討し、地域の相談窓口としての役割を再構築する。
また、地域の状況について予防センターと情報交換をしながら、予約制の導入や参加者には体調確認を必須とする等、開催に伴うルール決めて新しい「オレンジカフェ(認知症カフェ)」の形を作る。

手稲ゆうゆう訪問介護事業所
手稲ゆうゆう札幌市訪問介護相当型サービス事業所
手稲ゆうゆう居宅介護事業所

訪問介護サービスを必要としている利用者及び家族の希望に寄り添えるよう、煩雑な事務業務の効率化を図り、より多くのサービス提供を可能とすることで、自宅での暮らしを続けられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. ICT 化による業務効率化

事務業務によるサービス提供時間の圧迫や時間外労働を削減し、少しでも多く利用者の暮らしを支えられるよう、ICT 化を図り円滑な事業運営を目指す。

【指標・評価方法】

職員に対し、システムの使用方法について定期的な評価及び研修を行う。

2. ヘルパーグループ単位制の確立

サービス内容の変更やヘルパーの休暇対応等、迅速に対応できるようグループ制を確立し、利用者及び家族、職員からも信頼される事業所を目指す。

【指標・評価方法】

- ①サービス提供責任者間での業務分担を行う。
- ②グループ単位での定例会を行い、情報共有を図る。

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

更なる介護予防の普及啓発活動と一般介護予防事業を推し進めていく。また、地域住民の自主的な介護予防の取り組める集いの場作りと継続して活動できるよう支援に努める。また、コロナ禍で、自宅で過ごす時間が多くなり、個人で取り組める健康づくりの一環として、前年度に行った自宅でできる運動「まっする」を継続して支援と新たに ICT を活用出来るような仕組みづくりに努める。

《重点推進課題》

1. 住民主体の介護予防活動の支援と更なる推進

自粛明け後に、住民主体で行われている介護予防活動に直接出向いての活動状況の把握と問題点・改善点について主催者と情報共有し、継続支援していく。また、新たな介護予防活動の集いの場が生まれるように、地域住民への働きかけを行う。

【指標・評価方法】

- ・担当地区内で、自主運動サークル(8カ所)を定期訪問(年2回以上)し、活動状況の把握と主催者の今後の考えなどについて聞き取りを行う。
- ・体操のマンネリ化防止の観点から、札幌市で推進のしている「サッポロスマイル体操」を運動プログラムの選択肢として自主的に介護予防活動を行っている団体に PR や活用に必要な支援を随時行っていく。
- ・介護予防活動が行われていない「空白地帯」を示したマップを基に、住民主体の新たな自主活動サークルが立ち上げることができる場所を探しだし、1カ所以上の自主活動サークルの立ち上げを目指す。

2. 自宅(個人)で取り組める介護予防活動の支援

コロナ禍での自粛生活に伴い、高齢者の外出の機会が減少し、自宅で過ごす時間が多いため、身体機能や認知機能の低下が懸念されている。その為、介護予防の観点からも、前年度に行った自宅でできる運動「まっする」を継続し支援していく。また、ICT を活用した介護予防に取り組む仕組みづくりを行う。

【指標・評価方法】

- ・担当地区内で、地域住民への回覧板による周知により、参加者の把握と達成の進捗状況など達成者に聞き取りを行う。また、介護予防の観点からより多く周知できる配架の協力体制を築いていく。
- ・地域住民へ介護予防に関する情報を web の活用し、地域住民が活用できるシステム構築を行う。同時にQRコードなど活用して運動プログラムの提供を行うなど、介護予防に高齢者が活用できるように、利用に向けた啓発物を発行し、活用できる仕組み作りを目指す。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象事業所
通年	居宅会議(毎週金曜日)	居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
	ヘルパー合同会議(月1回)	訪問介護事業所
	ヘルパー定例会議(月2回)	訪問介護事業所
	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター・手稲区社協)(月1回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(年6回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区各種団体新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区認知症対策検討委員会(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活動名	費用名	内訳	金額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,900	20,900
		講師謝礼代		15,000	
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,100	20,100
		材料費代		15,000	
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,100	11,100
		材料費代		6,000	
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,100	20,100
		材料費代		15,000	
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,100	17,100
		材料費代		6,000	
		講師謝礼代		6,000	
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,100	8,100
		講師謝礼代		3,000	
10月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,900	14,900
		材料費代		9,000	
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,900	14,900
		材料費代		9,000	
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,900	5,900
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	3,900	6,900
		材料費代		3,000	
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	5,900	14,900
		材料費代		9,000	
3月	介護予防すこやか倶楽部	会場費代	実施回数 3回	5,900	5,900
	介護予防機能強化業務 (旧一般介護予防モデル事業)	会館費用	実施回数 36回	54,000	125,600
		運動用ゴムバンド代		50,000	
		材料費代(資料作成・印刷・運動CD作成物品等)		21,600	
	地域福祉活動支援事業	材料費代(講話資料・物品購入・印刷代等)	実施回数 32回	14,400	14,400
	その他活動予備費	その他介護予防事業等の予備経費		55,200	55,200
合 計				356,000	356,000

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症予防対策について	感染予防対策委員会
5月	事故防止対策、身体拘束廃止について	各委員会委員長
6月	認知症について	通所介護事業所
7月	人権擁護、虐待防止について	虐待防止委員会
8月	避難訓練	施設向上研修委員会
9月	救命救急・緊急時対応について	施設向上研修委員会
10月	看取り介護について	看取り介護検討委員会
11月	事故防止対策について	事故防止対策検討委員会
12月	感染症予防のための実技訓練	感染予防対策委員会
1月	避難訓練	施設向上研修委員会
2月	災害などの緊急時対応について	施設向上研修委員会
3月	口腔機能について	つがやす歯科
その他	新規採用職員研修	各担当職員

介護老人福祉施設 □ー夕ス音更
□ー夕ス音更（介護予防）通所介護事業所
□ー夕ス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所
音更町地域包括支援センター □ー夕ス音更
あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者の QOL を維持しながら、安心した日々を過ごしていただけるよう、入居者や家族のご希望に沿ったケアを実現する。そのために、全ての職員が目標へ向かって意識を統一し、これまで培った経験と実績を生かしたケアを心掛けるとともに、現在を上回るケアの追求に努める。

《重点推進課題》

1 個々のニーズに沿った、ケアを実施することで、価値のある時間を提供する。

入居者が日々安心して暮らすことができるよう、個々のニーズや心身の能力に応じたサービスを提供し、ケアの質を高める。そのために、根拠に基づいたケアの実施や余暇活動の見直しを行い、更に、家族と過ごす時間の提供を推進していく。

【指標・評価方法】

- ・ 「LIFE」を活用し、科学的根拠に基づいたケアを実践する。
- ・ 個別ケアを重点的に実施するため、食事や排泄、口腔ケアなどの日常のケア以外に、個々の要望や嗜好、こだわりなどのニーズを見付け、ケアへ繋げる。
- ・ 入居者や家族のご希望を汲み取る機会として、家族が参加する行事やアンケートを実施する。
- ・ 余暇活動を実施する時間の確保や入居者個人に合わせた活動を充実させるために、業務改善を図り、実施、評価を行う。

以上の目標を達成させるために、各ユニット及び、部門で取り組み目標を設定し、実現させていく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	4月・10月 第1水曜日 16:30～
	運営ミーティング	毎月第1木曜日 15:45～
	ケアプランカンファレンス	毎週火曜日 11:00～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 15:45～
	虐待防止対策検討委員会	4月・10月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2水曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4水曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	—	春のイベント食	春を感じる特別な食事を提供する。
5月	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く(徒歩圏内)
	1日(土)	開設記日	開設記念日に特別な食事を提供する。
6月	—	夏のイベント食	夏を感じる特別な食事を提供する。
7月	25日(日)	夏祭り	各ユニットにて夏祭りを実施する。
8月	—	納涼会	ユニット毎に食事をして楽しむ。
9月	13日(日)	敬老祝賀会	長寿を祝い、記念品の贈呈を行う。
10月	—	秋のイベント食	秋を感じる特別な食事を提供する。
11月	—	冬のイベント食	冬を感じる特別な食事を提供する。
12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
1月	—	正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月	3日(木)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
3月	3日(木)	ひな祭り行事	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。

【備考】

- ※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施
- ※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施
- ※「変わり湯」季節を感じるができる入浴を行う。
- ※「床屋」毎月第4月曜・第1、第2、第4火曜・第2木曜、第4日曜
- ※「避難訓練」年2回実施(日中・夜間想定)

年間行事予算(案)

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
5月	開設記念日	1日	開設記念の特別食を提供	入居者食事代 700 × 80 人	56,000		56,000
6月	夏のイベント食	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
7月	夏祭り	26日	各ユニットにて夏祭りを行う。	入居者食事代 1,000 × 80 人 飾り付け材料代外 200,000 ゲーム景品代 5,000	80,000	200,000 5,000	285,000
8月	納涼会	—	納涼会行事	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
9月	敬老行事	20日	長寿を祝い、表彰を行う。	入居者食事代 700 × 80 人 被表彰者記念品 3,000 × 10 人	56,000	30,000	86,000
10月	秋のイベント食	—	イベント食を楽しむ(お寿司行事)	入居者食事代 500 × 80 お茶菓子代 200 × 80	40,000 16,000		56,000
11月	冬のイベント食	—	お楽しみ食事会	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
12月	クリスマス・忘年会	—	各ユニットにてクリスマスを楽しむ	飾り付け材料代外 1,500 × 8 ユニット プレゼント代 300 × 80 人 入居者食事代(ユニット) 500 × 80 人 クリスマス用献立 100 × 80 人	40,000 8,000	12,000 24,000	
	クリスマス 大晦日	31日	クリスマス用献立 おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		108,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 800 × 80 人 飲み物代等 100 × 80 人	64,000 8,000		72,000
2月	節分	3日	豆まきを楽しむ	豆と代替え食品代 5,000 巻き寿司、いなり 300 × 80 人	5,000 24,000		
	施設居酒屋	—	居酒屋の雰囲気を楽しむ	材料代 15,000 × 1 回		15,000	44,000
3月	ひな祭り行事	3日	行事食を楽しむ(寿司行事) 桃の節句 デザート行事	入居者食事代 800 × 80 人 食材費 220 × 80 人 食材費 10,000	64,000 17,600 10,000		91,600
通年	誕生会		誕生日プレゼント	プレゼント代 1,300 × 72 人		93,600	
	ユニット行事		各ユニットでイベントを開催する。	材料代 2,000 × 8 回		16,000	
	入浴行事		変わり湯を楽しむ	材料代 2,000 × 4 回		8,000	
	季節のお菓子		季節のお菓子	食材費 200 × 80 人 × 4 回	64,000		
	ご家族様への手紙		毎月、近況報告の手紙と写真を送付する。	切手代 84 × 77 人 × 12 回 写真現像費用 7 × 77 人 × 12 回	77,616 6,468		265,684
合 計					756,684	403,600	1,160,284

ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者のニーズや心身の状況、生活する環境を踏まえ、在宅生活を継続するために必要な「最適なケア」を提供するとともに、一人ひとりが安心して、且つ、楽しむことができる通所事業所を目指す。

《重点推進課題》

1 利用者一人ひとりの意思や人格を尊重した、持続可能なサービス提供を行う

- ・ 認知症やニーズに合わせた個別支援を実施するために、科学的情報システム「LIFE」を活用し、科学的根拠に基づいた支援を実施する。また、その効果を評価する体制を構築する。
- ・ 利用者が地域と繋がりながら暮らし続けることができるよう、機能訓練などの一部の活動を近隣住民やボランティア団体等と共に実施する。

【指標・評価方法】

- ・ 心身の状況や生活環境及び、疾患に合わせた活動を実施するために、「LIFE」を活用し、個々のニーズやアセスメント、実施した支援内容などを分析する。
- ・ 認知症への理解を深めるために、毎月の事例検討や認知症の評価スケールなどに関する研修へ参加するなどし、知識とスキルの向上を図る。
- ・ 花や野菜をプランターで栽培し、成長を楽しむ活動や制作活動を充実させ、達成感が得られる活動に取り組む。
- ・ 機能訓練のプログラムを充実させるために、「ふまねっと」の定期開催の継続や「運動サーキット」を実施する。
- ・ 地域住民やボランティア団体の方々を花の手入れや野菜栽培の手伝い、機能訓練プログラムなどの活動へ招待し、利用者様との交流の機会を設ける。

年間会議予定

月	会議予定 (開催日)	対象職員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1~3回)	全職員

年間予定

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食 農園・園芸活動	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 花や野菜などの成長と収穫を楽しむ	食事代 300 × 30人 園芸用品代 10,000	9,000	10,000	19,000
5月	母の日週間	母の日を祝う	プレゼント代 300 × 70人		21,000	21,000
6月	夏のイベント食 父の日週間	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 父の日を祝う	食事代 300 × 30人 プレゼント代 300 × 20人	9,000	6,000	15,000
7月	夏祭り週間	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代 10,000 製作材料・ゲーム景品代 4,000	10,000	4,000	14,000
8月	納涼会	納涼会行事(入所と同日)	食事代 300 × 30人	9,000		9,000
9月	敬老週間 敬老イベント食	敬老の飾り付けと記念品の贈呈の開催。 イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	節目対象者記念品代 1,500 × 20人 全員対象記念品代 500 × 90人 製作材料費 3,000 食事代 300 × 30人	9,000	30,000 45,000 3,000	87,000
10月	秋のイベント食 ハロウィン行事	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 季節を感じられる行事と園児との交流。	食事代(お寿司行事) 500 × 30人 製作材料費 5,000	15,000	5,000	20,000
11月	冬のイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	製作材料費 300 × 30人		9,000	9,000
12月	クリスマス忘年会週間	クリスマスや年末にちなんだイベント。	プレゼント代 600 × 90人 製作材料・ゲーム景品代 7,000 クリスマス献立 100 × 30人	3,000	54,000 7,000	64,000
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 30	12,000		12,000
2月	節分・お菓子作り	豆まきや食事、お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 2,000 巻き寿司材料費 300 × 30人	2,000 9,000		11,000
3月	ひな祭りイベント食 ひな祭り・お菓子作り	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) ひな祭りを行う。おやつレクを楽しむ。	食事代 300 × 30人 おやつ材料費 2,000	9,000 2,000		11,000
入浴	年間を通じて季節に応じた入浴レクを楽しむ(年2回を予定)		入浴レク材料費(一般デイより計上) 3,000		3,000	3,000
通年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 利用者購読用 新聞代 季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数90人)		5,000 × 12ヶ月 700 × 90人 週刊誌代 1,350 × 12ヶ月 道新スポーツ・道新購読料 5,962 × 12ヶ月 800 × 90人		60,000 63,000 16,200 71,544 72,000	282,744
合 計				170,000	407,744	577,744

年間会議予定

月	会議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1~3回)	全職員

年間予定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食 農園・園芸活動	イベント食の提供(入所と同日) 花や野菜などの成長と収穫を楽しむ	食事代 300 × 12 人 園芸用品代 10,000	3,600	10,000	13,600
5月	母の日週間	母の日を祝う	プレゼント代 300 × 20 人		6,000	6,000
6月	夏のイベント食 父の日週間	イベント食の提供(入所と同日) 父の日を祝う	食事代 300 × 12 人 プレゼント代 300 × 5 人	3,600	1,500	5,100
7月	夏祭り週間	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代 5,000 製作材料・ゲーム景品代 4,000	5,000	4,000	9,000
8月	納涼会	納涼会行事(入所と同日)	食事代 300 × 12 人	3,600		3,600
9月	敬老週間 敬老イベント食	敬老の飾り付けと記念品の贈呈の開催。 イベント食の提供(入所と同日)	節目対象者記念品代 1,500 × 10 人 全員対象記念品代 500 × 25 人 製作材料費 2,000 食事代 300 × 12 人	3,600	15,000 12,500 2,000	33,100
10月	秋のイベント食 ハロウィン行事	イベント食の提供(入所と同日) 季節を感じられる行事と園児との交流。	食事代(お寿司行事) 500 × 12 人 製作材料費 5,000	6,000	5,000	11,000
11月	冬のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	製作材料費 300 × 12 人		3,600	3,600
12月	クリスマス忘年会週間	クリスマスや年末にちなんだイベントの開催	プレゼント代 600 × 25 人 製作材料・ゲーム景品代 3,000 クリスマス献立 100 × 12 人	1,200	15,000 3,000	19,200
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 12	4,800		4,800
2月	節分・お菓子作り	豆まきや食事、お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 2,000 巻き寿司材料費 300 × 25	2,000 7,500		9,500
3月	ひな祭りイベント食 ひな祭り・お菓子作り	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) ひな祭りを行う。おやつレクを楽しむ。	食事代 300 × 12 人 おやつ材料費 2,000	3,600 2,000		5,600
入浴	年間を通じて季節に応じた入浴レクを楽しむ(年2回を予定)		入浴レク材料費(一般デイより計上) 3,000		3,000	3,000
通年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数25人)		5,000 × 12 月 700 × 25 人 800 × 25 人		60,000 17,500 20,000	97,500
合 計				66,500	158,100	224,600

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町のC圏域における介護・福祉行政の一翼を担う公的機関として、公正で中立性の高い事業運営を行う。各専門職が相互に連携するとともに、地域福祉を支える様々な関係者と密接な連携を図り、地域住民が住み慣れた場所で生活することが持続可能な地域を目指す。

《重点推進課題》

1 地域の特性を踏まえ、地域住民や多職種との連携により、地域課題を把握する。

地域住民や関係機関とのネットワークを構築し、地域課題を抽出し地域における持続可能な開発目標の達成を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務

- ② 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、地域における高齢者がどのような支援が必要か地域住民や関係機関とともに実態把握に努め、高齢者の状態の変化に応じたケアマネジメント等を提供していく。

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者が可能な限りその居宅において、本人の有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況や生活環境等に適したサービスを選択できるよう支援する。また保健・医療・福祉サービス事業者と協働し、総合的かつ効果的な介護サービス計画に基づいて介護サービスが提供されるよう配慮して支援を行う。

《重点推進課題》

1 事業所内の意見交換や情報共有を積極的に行い、介護支援専門員が個々で不安や疑問を抱え込むことがない環境づくりを目指す。

事業所内の介護支援専門員が協力し合うことで、個々の身体的・精神的負担を軽減することができ、それにより更に質の高いケアマネジメントの提供が可能となる。

【指標・評価方法】

- ① 困難な事例だけでなく、日常の疑問点や迷いなどを、事業所内で共有することにより、多角的観点から検証し、解決していく力を身に付ける。
- ② 介護支援専門員それぞれが設定した個人目標に則った研修を計画・実行し、介護支援専門員全員で知識を共有し、資質の向上を図る。
- ③ 適切なケアマネジメントを行うため、事業所内での会議や地域の連絡会議へ参加する機会を大切にし、社会資源や要介護者の動向を把握するよう努める。
- ④ 事業所内のアセスメントツール(様式)を再検討し、アセスメント業務の効率化を図る。

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	感染予防について	感染予防委員会
5月	接遇について	接遇向上委員会
6月	事故防止について(救命救急)	医療事故防止委員会(音更消防署)
7月	感染予防について	感染予防委員会
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9月	防災について	防災委員会
10月	感染予防について	感染予防委員会
11月	口腔ケアについて	口腔ケア委員会
12月	事故防止について	医療事故防止委員会
1月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
2月	感染予防について	感染予防委員会
3月	福祉用具について	研修委員会

老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

新型コロナウイルスのクラスターにより得た知識や経験から学んだことを生かし、職員が一人丸となって「感染に強い施設」「安心・安全な環境の中でご利用者様の笑顔があふれる施設づくり」を目指す。

また、ご利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。さらに、介護度が重度の入所者やターミナル期にある方へ、尊厳のある安心した生活を送って頂くことができるよう、職員の資質向上を図る。

《重点推進課題》

1. 「感染に強い施設」への進化

感染対策の強化・徹底を図り、「感染に強い施設」を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 感染対策を徹底するために、日々の業務に対策を組み込み、実施継続できているかを評価し、改善点に対し、より感染リスクが軽減される方法を模索し、実施する。
- ② PPE の脱着手順やゾーニングの方法、初動対応のシミュレーションなど、様々な研修及び振り返りの機会を持ち、クラスターで経験したことを活かし予防体制を構築していく。
- ③ 感染症予防マニュアルを新たに見直し、新型コロナウイルスを含め、様々な感染症に対する対策を講じ、施設内に持ち込まない・広げないための基盤づくりを行う。
- ④ クラスターを経験した実体験を基に、地域の皆様に向けた講演活動の企画や実施に向けて計画を立て発信していく。
- ⑤ 個別リハビリの実施や日常生活の中でのリハビリや活動参加を通じて、身体機能の維持、向上を図り、在宅復帰率 50%以上の安定確保を目指すとともに、稼働率の向上と安定化を目指す。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第2水曜日 17:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月第2木曜日 3F:毎月第2金曜日
	リハビリ会議	毎月第1水曜日
	施設内研修	毎月第4水曜日 18:00～
委員会	医療事故防止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3水曜日 17:45～
	身体拘束廃止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3木曜日 17:45～
	感染対策委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第1水曜日 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	接遇委員会	毎月第4月曜日
	研修委員会	毎月第4火曜日
	教育委員会	毎月第2月曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	防災委員会	毎月第3月曜日
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日 11:00～
	ターミナルケア委員会	毎月第2月曜日
	衛生委員会	毎月第1月曜日

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		母の日	母の日に合わせた企画をする
		開設記念日	開設17周年
6月		父の日	父の日に合わせた企画をする
		運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
		蕎麦行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
7月		夏レク	各フロアにて夏らしい行事を企画し楽しんでいただく
8月		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月		敬老の日	入所者の長寿を祝う。
10月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
		買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
11月		昼食行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月		節分	千支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		桃の節句	職員による相撲大会。

※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施
 ※「変わり湯」年2回実施
 ※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施
 ※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施
 ※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	寿司行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。	入所者食事代 900 × 100 人	90,000		90,000
5月	母の日 開設17周年 個別外出		母の日に合わせお祝いをする。 開設記念日に合わせ食事会 入所者の希望に沿った外出を行う。	6,000 入所者食事代 500 × 100 入所者飲食代 実費	50,000	6,000	56,000
6月	蕎麦行事 運動会 父の日 個別外出		ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食 リハビリを兼ねて入所者間の交流を図る。 父の日に合わせお祝いをする。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 200 × 100 人 装飾等備品代 20,000 6,000 入所者飲食代 実費	20,000	20,000 6,000	46,000
7月	夏レク 個別外出		夏らしい行事の実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 500 × 100 人 ジュース代 200 × 100 人 各階飾りつけ代 × 人 ゲーム・花火等 × 人 入所者飲食代 実費	50,000 20,000 10,000 40,000		120,000
8月	夏レク 個別外出		夏らしいレクリエーションの実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	装飾等備品代 20,000 入所者飲食代 実費		20,000	20,000
9月	敬老の日 個別外出		入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 760 × 100 人 入所者飲み物代 50 × 100 人 高齢者記念品代 2,000 × 16 人 (喜寿・米寿・白寿・100歳以上) 装飾備品代 20,000 入所者飲食代 実費	76,000 5,000	32,000 20,000	133,000
10月	寿司行事 個別外出		入所者の声を反映した食事提供を行う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 900 × 100 人 入所者飲食代 実費	90,000		90,000
11月	昼食行事		季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000		25,000
12月	クリスマス忘年会 行事食 年越し	日 日 31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の 親睦を図る。 クリスマス昼食 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 20,000 入所者食事代 100 × 100 人 飲物・菓子・装飾等代 30,000	50,000 10,000	20,000 30,000	110,000
1月	正月 新年餅つき大会	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 1,200 × 100 人 もち米他材料代 10,000	120,000 10,000		130,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000	10,000	35,000
3月	桃の節句	日	大相撲大会	景品・備品代 10,000		10,000	10,000
通年	誕生日会 変わり湯(8月3月) 喫茶 レク用品 園芸用品 職員食事代 予備費	毎月 2回 日曜	入所者の誕生日に合わせ、お祝いする。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。 フロアにおける活動費 花壇等の環境整備 外出行事の際の食事代	プレゼント代 1,500 × 100 人 入浴物品代 6,000 × 2 ヶ月 入所者飲物代 実費 レク用品代 10,000 × 2 × 12 ヶ月 園芸用品代 50,000 310 × 50 100,000	150,000 12,000 15,500	240,000 50,000 0 100,000	567,500
合 計					706,500	726,000	1,432,500

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を念頭におき、心身の機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、感染対策の強化を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

また、在宅生活を支えている家族の気持ちを大切に、安心して生活を送ることができるよう務めていく。

《重点推進課題》

1. 自立支援を目指した取り組み

通所リハビリテーションとしての役割を踏まえ、生活リハビリの視点に着眼点を置き、サービス内容の適時見直し、ダイルーム内の環境を整え、さらなる自立支援を目指したケアを実施する。

【指標・評価方法】

- ①機能の維持回復を念頭にダイルーム内の環境を見直し、利用者自身が考え、興味を持って身体を動かす活動や生活リハビリができるような工夫・改善を行う。
- ②サービス担当者会議の場に積極的にリハビリ職員も同席し、自宅での生活をより把握することで、リハビリテーションの内容に反映または、生活上のアドバイス・改善策をその場で提案する。
- ③送迎、入浴、食事などの日々の場面に対して、生活リハビリの観点を持ち、随時改善点を話し合い、サービス内容の見直しを行う。

2. 感染対策の強化

感染対策に重点を置き、利用者自身も予防策を習得できる機会を作り、感染対策の強化を図りながら、安心して通所ができるよう取り組む。

【指標・評価方法】

- ①正しい手指消毒の方法など感染予防対策について利用者に伝える機会を作る。
- ②个人防护具(PPE)において、正しい装着及び使い方ができているか、対応が正しく行えているかの定期的な評価・改善・確認を行う。
- ③デイケア通信を活用し、利用者関係者へ感染対策の取り組みについてお知らせする。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員	会議予定(開催日)	対象職員
通年	デイケア会議(不定期開催)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員	新人教育委員会(第2月曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・正職員	医療事故防止委員会(第3水曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	接遇向上委員会(第4月曜日)	担当職員
	幹部会議・主任会議(10日以降で設定)	通所主任・通所副主任	研修委員会(第4火曜日)	担当職員
			防災委員会(不定期開催)	担当職員

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月					0	0
5月	園芸活動 昼食行事(1日間限定)	苗植え (きゅうり、ミニトマトなど) 普段とは違う食事を楽しむ	肥料 4,000 × 1 苗 6,000	20,000	4,000 6,000	30,000
6月						0
7月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
8月					0	0
9月	敬老週間 昼食行事(1日間限定)	敬老を祝う 普段とは違う食事を楽しむ	各種表彰 1,500 × 3人 (2021.2.27現在) 喜寿(昭和20年) 1人 米寿(昭和9年) 2人 白寿(大正12年) 0人 高齢者 0人	20,000	4,500	24,500
10月						0
11月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
12月	Xmas&忘年会 変わり湯週間	雰囲気の違いお風呂を提供する(ゆず湯)	ケーキ代 200 × 180人 プレゼント 500 × 90人 飾り付け 20,000 20,000	36,000	45,000 20,000 20,000	121,000
1月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
2月						0
3月	昼食行事(1日間限定) スライドショー	普段とは違う食事を楽しむ 1年間の振り返りを行う	おやつ代 150 × 180人	20,000 27,000		47,000
通年	物品購入費及びレクリエーション制作材料費 誕生日プレゼント代 本代(オレンジページ)(月2回) 本代(壮快)(月1回) 本代(趣味の園芸)(月1回) 本代(やさいの時間)(2ヶ月に1回) 本代(レクリエ)(2ヶ月に1回)		10,000 × 12ヶ月 1,000 × 90人		120,000 90,000 12,000 7,500 6,660 5,478 13,930	255,568
予備	予備費				6,000	6,000
			合 計	183,000	361,068	544,068

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者、家族が笑顔で在宅生活を送り続けることができるよう支援する。

また「活動」や「参加」に焦点を当てた提案やアプローチを行っていく事で、利用者が主体的に日常生活活動を営む事が出来るよう支援する。

そして利用者の機能に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行うことで、利用者が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

利用者の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。また、家族への介護指導や不安等に耳を傾けることで在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ①医師の診察・指示のもと、利用者個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ②定期的に関係機関と連携し、利用者のご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ③年1回、利用者・家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。